

中野市管内では、ももの樹体凍害が多発しており生育不良や枯死に至る事例が散見されています。

樹体凍害には「**台木間差**」が認められており、「**おはつもも台**」を利用した場合に凍害の発生が多い事例、また、樹体凍害の発生が少ないと考えられる台木（以下、耐凍性台木）『ひだ国府紅しだれ』『払子台』を使用した「なつっこ」栽培事例について、長野県の技術情報として報告されています。

＊詳細は、長野県農業関係試験場の試験成果検索フォーム https://www.agries-nagano.jp/research_result_search の技術情報から検索下さい。

耐凍性台木は、上記２種類の他に『**白花台**（岐阜野生桃台）』が挙げられます。白花台は、種苗登録されていないため一般的に流通していない台木でしたが、すでに近隣の JA で普及している地域もあり、口コミで認知されてきた台木です。りんご・もも部会では、本年から『白花台』の苗木斡旋を始めました。

それぞれの台木の特徴について掲載しますので、今後の苗木導入の際の参考資料としてご活用下さい。

【耐凍性台木】＊取扱い業者は限られていますが、どの台木も販売されています。

名 称	来 歴	種苗登録
ひだ ^{こくふべに} 国府紅しだれ	岐阜県 観賞用ハナモモの自然交雑実生	有 (種苗法登録第 16479 号)
ほっす ^{払子} 台	佐久市 小平氏が発見した野生桃の台木	H25 年失効 (種苗法登録第 11374 号)
しろばな ^{白花} 台 (岐阜野生桃台) ＊注目の台木	岐阜県 白花の野生桃の台木	無

＊「白花台」は通称です。

【台木の特徴と比較】

下記の台木間の比較は、園地条件や施肥・栽培管理、品種等によって変わる場合がありますので、あくまでも参考資料としてご覧ください。また、耐凍性が有望な台木を導入したからといって凍害発生率が必ず 0 になるとは限りません。凍害が多発している園地では、台木の他に栽培面での見直しも必要と思われます。

樹勢	・・・ 白花台（樹勢強）＞おはつもも台≧払子台＞＞＞ひだ国府紅しだれ（樹勢弱） ＊「ひだ国府紅しだれ」は、おはつもも台と比べて 7 割程度の樹勢と思われます。
耐凍性	・・・ ひだ国府紅しだれ（耐凍性高）＞白花台＞払子台＞＞＞＞おはつもも台（耐凍性低） ＊おはつもも台の凍害発生指数を 1 0 0 とすると、ひだ国府紅しだれ、白花台、払子台は 1 0 未満と思われます。ただし、どの台木を使用してもワラ巻き等の防寒対策は必要となります。
成熟期	・・・ ひだ国府紅しだれが他の台木と比べてやや早まる傾向
初期収量	・・・ 白花台＞おはつもも台≧払子台＞ひだ国府紅しだれ
果実品質	・・・ 台木間による大きな差は認められない

【今後の苗木導入時の注意点】

- ①凍害が発生しやすい園地では「おはつもも台」の使用を避け、耐凍性台木付きの苗木を導入する。
- ②耐凍性台木の特徴を加味した上で、導入品種・本数・栽培管理に留意する。

上記の内容にご不明な点、ご相談等がありましたら、園芸課・技術担当にお問い合わせ下さい